



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年01月15日 第852号「週刊五十嵐レポート」

「これは、おかしい」

1月8日の成人式に晴れ着を着れない新成人のニュースが飛び込んできた。振り袖の販売・レンタル業者「はれのひ」が突然営業を取りやめ、成人の日に晴れ着が着れない新成人が相次いだ。東京商工リサーチによると、2016年9月期時点で約3億2千万円の債務超過に陥っていた。今回、代金を支払ったのに振り袖を受け取れないなど1人当たり30万円前後の被害が多いとのこと。

昨年3月同じような事件があった。旅行会社「てるみくらぶ」の経営破綻。当時、「てるみくらぶ」の負債は約151億円。一般旅行者に対する債務は約3万6千人に対して約100億円。他にもエステや結婚式場など、消費者が支払った前金が戻らないケースが散見した。

企業活動は、「信用」というものを前提に取引が行われている。「信用」とは、現在の行為から考えて、将来必ず債務を履行するだろうと推測し、信任すること。給付を反対給付との間に時間的なずれのある交換。物品を購入し、その対価を後日支払う類。(広辞苑より)今回は、消費者側からは支払いが先で後日物品をもらう取引。信用を損なう債務不履行とは、債務者がその責めに帰すべき事由によって債務の本旨に従った履行をしないこと。

企業間同士の取引では、必ず債務を履行するだろうと判断する前に事前に信用調査をすることが多い。できるだけ生の情報を集める。このような情報は表に出てこない。確かな情報を素早く対応することで損害を未然に防ぐことが企業では大事になっていく。一方、消費者はどうか。いくらSNSやネットが発達しても、事件が起きてからの情報は拡散するが、水面下で事件が起こる前の情報は集めづらい。「はれのひ」の事件も2016年末から給料が遅配や未払いがあり、家賃やリース料の未払いもあった。これらは関係者しかわからない。

不良債権防止のポイントは、1. 情報収集力。2. 判断能力。3. 実行力。
先に30万円払って、物品(振り袖)がすぐに届かない。「これは、おかしい」と思えるかどうか。

ちょっと
気になる出来事

町工場が調子いい。

東京の三多摩地区の町工場を運営する中小企業が忙しく、調子がいい。仕事が多く、今は好景気だと。

過去、大手企業がアジアにコストダウンを求めていった。

その後、町工場は淘汰され、今ある町工場は生き残ったところだけ。だから強い。

今は、何で調子がいいのか？

「半導体」と答える。AIやIT関連を含めたもの。

なるほど、日本の株価が高いのもうなずける。

町工場は当面仕事があるそうだ。日本の好景気はしばらく続きそうだ。



一口メモ
知識

つねに市場中心で考える

通常、ベンチャーが期待にそえず、それどころか生き残れなくなったときのセリフは、「あの連中に市場をとられるまではうまくいった。彼らが市場に出したものは、うちのものと大して違わなかった」である。

ベンチャーが成功するのは、多くの場合、予想もしなかった市場で、予想もしなかった顧客が、予想もしなかった製品やサービスを、予想もしなかった目的のために買ってくれるときである。ベンチャーは、この事実を踏まえ、予期せぬ市場を活用できるよう自らを組織しておかなければならない。あくまでも市場志向、市場中心でなければ、単に競争相手のために機会をつくっただけに終わる。

予期せぬ成功や失敗など、予期せぬものを体系的に探さなければならない。予期せぬものを例外として片付けず、機会としてしらべなければならない。

P.F.ドラッカー 「チェンジ・リーダーの条件」より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日 午前10時～12時

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週水曜日 午前10時～12時

「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

